



漢人物鏡

三

遠 13  
1295  
3



1295  
3

渡天四張子之

目録

一 又右の書格を江崎の事

一 濱田長為改易の事

一 大比良の事

一 濱田長平の事

後天物張舟之



又右書勢て仕向中  
湯嶋  
沼 沼長島の波易中



此の舟は舟大具又右の海もよむ海歌  
舟平一う心もよむ舟もよむ舟歌  
舟と舟又右の舟もよむ舟歌  
舟の舟もよむ舟もよむ舟歌  
舟の舟もよむ舟もよむ舟歌  
舟の舟もよむ舟もよむ舟歌



海船は年々もやもやな命のやうな  
中りしはあつたうしけ一ちもとあ  
うえうりふちもさうさうさうさ  
しとたをこ入ふれあひと入る  
ちりし船もあひさうちりさうさ  
らの船もせほりさあれたちひさ  
せうさうちりさあれたちひさ  
りさうさうちりさうさうさ  
年々も船はひびくちりさあれたちひさ

うも船をちりさうさうさうさ  
おあいのちりさうさうさ  
細いちりさうさうさ  
海にわきさうさうさ  
つちさうさうさ  
船も年々も船はひびくちりさ  
ちりさうさうさ  
ちりさうさうさ  
ちりさうさうさ  
ちりさうさうさ





年々志をこころに留めしむるに  
當りて人の之と昔年一思ひ入事  
又初より及ひ昔年をひきり入令  
其の動といふは物をも二人の心を  
ウケてあつてさうきくすねも却て不  
たふといふは物に足る首尾もあつて  
らて海にひきかへるわすれ人の心  
よすはひきかへるはひきかへる  
らまはひきかへるはひきかへる

しきり合はれしと申さるるはひきかへる  
也し人の心もさうきくすねも却て不  
あしきり合はれしと申さるるはひきかへる  
たれしと申さるるはひきかへる  
しきり合はれしと申さるるはひきかへる  
らまはひきかへるはひきかへる  
及も初より及ひ昔年をひきり入令  
方うらひしと申さるるはひきかへる  
と申さるるはひきかへるはひきかへる



入と 磯ふ 跡と 志すし けり

閨交 猶信 仲郷女 一作 武名 此郭 然

まゐり 言妙の ちや こと 海り さん け ち ち

い こと お けり けり こと 下 宮 及び ち けり こと

けり こと ち 貝 又 ち けり こと 海 次 ち けり こと

こと 一人 こと ちん 義 され こと 娘 こと こと けり こと

けり こと こと こと こと こと けり こと こと こと こと

事 名 こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

の けり こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと

こと こと こと こと こと こと こと こと こと こと





小辨とたりまらうと書かぬおあまも  
望み成はぬらうと書かぬおあまも  
あまのうらうと書かぬおあまも  
おあまもらうと書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも  
おのれと書かぬおあまも  
わらうと書かぬおあまも  
十平きり入るてしと書かぬおあまも  
きり入るてしと書かぬおあまも

あんなもてしと書かぬおあまも  
一層のちと書かぬおあまも  
成切ぬと書かぬおあまも  
と書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも  
おあまもらうと書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも  
うらうと書かぬおあまも

きくに敵へしとぬ置納よお遣て  
うらぬ松浦長らる木造りのうらと  
知り書るるやしとらきとく願知て遣  
政せらき大貝又あらむ武名のやと  
し入とわつと申するの語とし対らき  
大目附よ屏をせり

大比震時政の事

海部治平勘とて受

海部大貝又あらむ麻志播後の悪  
石をけきの新略の新明のまらりし  
新のあらきと盤の一海来後を  
手紙まのわのまのは兼うな海小  
新の由目控とゆくと大目附はと  
対らきしと女今れお給きとる海  
こころちひよあもしく時よ又あらむ海部  
治平とあともびとしそなわひでう  
海部対むのうらのちとらんし入き



毛のひも大少段ありて備わりのくまふ  
年比のきぬしそのちり手物と  
手立れいらん様のみ鼻もり  
し事なれば河鼻迄熱れ罪人とし  
はれそまやれぬ様まじ物  
所々昔のよあやむかやうの中を  
しけりす半くはらよ及ひ万の  
はしほらうまはしはし  
ひらうしはしはしはし

百よれりけりしはし  
しはしはしはしはし  
と時を別れしはしはし  
と時を別れしはしはし  
よわしはしはしはし  
兼た月出大貝又ある兼ふはし人  
はしはしはしはしはし  
はしはしはしはしはし  
はしはしはしはしはし  
はしはしはしはしはし  
はしはしはしはしはし

比 嘉 納 の 領 土 へ 渡 津 波 行 け ば 一 日  
傳 へ じ ぬ べ ぬ 由 事 會 の け ち ち ち  
あ し ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
と う ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
又 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
一 日 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
い ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
あ ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
の 部 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

中 紀 子 紀 紀 と ち ち ち ち ち ち ち ち  
改 善 回 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
甚 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
と ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
橋 脚 の 十 八 部 ち ち ち ち ち ち ち ち  
赤 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
天 下 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち  
ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち





いふにわたりぬいこんぬ船一舟の事也  
十一のしーらうしーき人送角子風そ  
卯酉を多しうき船政の骨目ゆつ了  
宗わをるまの帝うりまきまのあた生  
ま日船と船と日船とのりまらふ  
時反あゝとせあさひとまの半の膝  
奴ようしーしー水子船より知とう  
一方は好とうとていぬまきうしー  
いふそおぬ船とせんまふ人ばおぬ船

城戸からまきぶに船系あるおを母人大  
貝も水船一船更へまのしーわまの船  
海平のけりて海垂よりぬまき極うし  
渡わりぬ船と船と海船海系とそ  
りふは年の方及とうりしーもひり  
は長船の海守後の船のきりし  
そ船と船のしーしー船の船後き  
りぬしー船と船のしー船の船  
とぬしー船と船と船と船と船と船と

海河のりり馬舟登化れ意如附之  
地志に下知是しそ付らひ中巴  
ら是しといふ事なく馬舟首舟  
下しん海ありたけこそ名ふらる

海天ゆ浪舟之

